

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会
担当大臣

丸川 珠代 様

要 望 書

平成28年9月9日

福島県いわき市長 清水 敏男

双葉地方町村会長 馬場 有

要 望 者

職名		氏名	備考(役職名)
いわき市長		清水 敏男	
双葉地方町村会	浪江町長	馬場 有	会 長
	楢葉町長	松本 幸英	副会長
	広野町長	遠藤 智	
	富岡町長	宮本 皓一	
	川内村長	遠藤 雄幸	
	大熊町長	渡辺 利綱	
	双葉町長	伊澤 史朗	
	葛尾村長	松本 允秀	

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における 予選試合開催等の誘致について

いわき市では、東京オリンピック・パラリンピック関連事業等を積極的に誘致することにより、スポーツと産業の振興及び風評の払拭並びに東日本大震災から復興した当市の姿と支援に対する感謝を世界に発信することを目的に、平成26年7月に「東京オリンピック・パラリンピック推進本部」を設置しました。加えて、今年度から競技誘致等をより一層推進するため、東京オリンピック・パラリンピック担当の部署を新たに設置したところがあります。

このような中、東京オリンピック競技大会の追加種目競技が、本年8月3日に開催されたI O C（国際オリンピック委員会）総会において正式決定され、大会組織委員会においては、現在、野球競技について、被災地である福島県での予選試合を実施する方向で調整との報道がなされているところでもあります。

いわき市では、2013年には、プロ野球オールスターゲームが開催された実績に加え、本年夏には、第3回W B S C U-15ベースボールワールドカップが日本で初めて開催され、官民挙げての大会運営と「おもてなし」が高く評価されるなど、これまでも野球競技の開催や球場整備等には、特に力を入れて参りました。さらに、積極的に予選試合開催等の誘致を進めるため、平成27年10月から、「野球競技誘致責任者」を配置しているところがあります。

つきましては、こうした実績を考慮していただき、2020年東京オリンピック競技大会の追加種目競技である野球競技の予選試合について、東日本大震災の被災地である福島県浜通り地域のいわき市での開催と、併せて事前合宿・キャンプ地としても選定されますよう、特段のご配慮と全面的な支援を要望いたします。

福島県浜通り地域への聖火リレーコースの誘致について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、I O C（国際オリンピック委員会）に提出した「大会開催基本計画」におきまして、聖火リレーは東日本大震災の被災地や観光名所、文化遺産を巡るルートを検討し、2019年に発表することとしております。本年4月には、福島県立双葉高校、双葉翔陽高校の生徒達が安倍晋三首相や五輪担当相のほか、文部科学相も訪問し、福島県沿岸部の浜通り地域を縦断する国道6号を選定するよう要望活動を行ったところであります。

聖火ランナーが国道6号を縦断しながら駆けることは、取りも直さず沿道の線量低減対策や福島第一原子力発電所の廃炉作業の安全性及び放射性物質飛散対策等により安全で安心できる空間を確保することであり、世界に向けて日本の復興、福島の被災した浜通り地域の復興をアピールできる絶好の機会であると捉えており、まさに復興五輪の名にふさわしい取り組みとなるものであります。

つきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレーコースの選定にあたりましては、東日本大震災の被災地であることを考慮していただき、福島県浜通り地域が、地震津波による災害や福島第一原子力発電所の事故から力強く復興している姿を、聖火リレーを通して国内外にアピールする場として、最も適所であることから、国道6号を縦断するルートをぜひとも採用していただくよう、特段のご配慮をお願いいたします。